

竹山地区

竹山地区別計画推進委員会

地域 竹山1~4丁目

緑区の南側に位置し、地区の南側は保土ヶ谷区に隣接しています。

昭和40年代に開発された竹山団地が中心にある丘陵地の住宅街です。この地区は、竹山中公園、竹山二丁目公園、竹山南公園等をはじめ、緑豊かな街並みが続きます。

緑区の中では最も高齢化が進んでおり、年少人口比率も最も低い地区となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

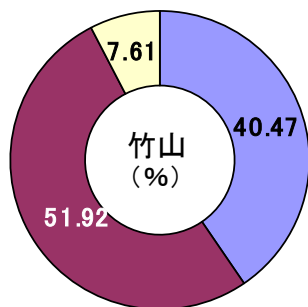
震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

<年齢区分別人口>

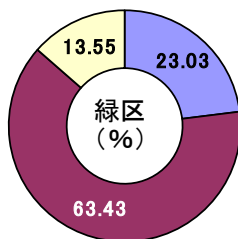
平成29年(2017年)9月末

人口比

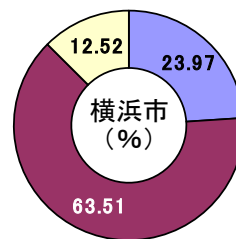


75歳～	1,317人
65～74歳	1,512人
15～64歳	3,629人
6～14歳	359人
0～5歳	173人
合計	6,990人

■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15～64歳) □年少人口比率(0～14歳)



75歳～	19,961人
65～74歳	21,565人
15～64歳	114,379人
6～14歳	15,259人
0～5歳	9,172人
合計	180,336人



75歳～	436,885人
65～74歳	458,921人
15～64歳	2,373,525人
6～14歳	286,996人
0～5歳	180,967人
合計	3,737,294人

地区別計画推進委員会の開催状況

第1回

平成29年9月21日
19:00～20:30

竹山ホール

- ・第3期計画について
- ・情報共有、意見交換
- ボランティアセンターの体制と活動実績
- 広報の充実
- 認知症カフェ「ぶらり」のその後

通信No.13 発行

第2回

平成29年12月6日
19:00～20:55

竹山ホール

- ・映画鑑賞
「認知症と向き合う」
- ・意見交換

通信No.14 発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成29年度地区別計画推進状況



竹山地区



認知症と向き合う

竹山地区の現状と課題から ～人口が7,000人を割り込む～

20年程前は1万人以上いた竹山地区（竹山1丁目～4丁目）の人口は、直近の調査で7,000人を割り込みました。その内、65歳以上の高齢者数は約2,800人で、高齢化率も約40%に上っています。

「元気で健康な高齢者ばかりだから大丈夫！」ということであればいいのですが、高齢化の進展に伴い、認知症のことなど、誰にも相談できずに抱えこんでしまっている人が多くいないか心配されます。

「カフェ ぶらり」がオープン!

そこで、昨年この会議で提案された「認知症カフェ」の取組がスタート。

6月には、認知症の方ご本人、そのご家族にお越しいただき、「カフェ ぶらり」がオープンしました。（会場：ふれあいさろん竹多久）

2か月に一回程度の頻度で開催しており、参加者も徐々に増えてきています。

全く無表情だった方も、家族、スタッフの問いかけや趣味の話を始めると、だんだんと表情が明るくなり、自ら話し出してくれた方もいました。より身近なところで、認知症に関する理解が広がったり、支えあえる場づくりが進んでいます。



（写真：「ふれあいさろん竹多久」の幟）



（写真：「ロバ隊長」）

※「認知症サポーターキャラバン」のマスコットキャラクター



（写真：「カフェ ぶらり」の様子）

竹山地区別計画推進委員会は下記の各団体等の代表者などで構成しています。 ※順不同

● 連合自治会 ● 各自治会 ● 地区社会福祉協議会 ● 民生委員・児童委員 ● 保健活動推進員

竹山地区別計画推進委員会



回覧

竹山地区別計画推進委員会
平成29年10月発行 第3期-No3（通算No.13）
＜連絡先＞事務局 緑区保険年金課内 TEL：930-2336

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 竹山地区別計画推進委員会通信

今年度1回目の委員会を開催～第3期2年目、さらに前へ～

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区別計画を推進していくために、推進2年目となる今年度の第1回推進委員会が9月21日竹山ホールで開催されました。

今回は、地区ボランティアセンターの活動や地区社協ホームページリニューアル、そして、昨年から動き出した認知症に関する新たな取組の状況などについての報告と意見交換が行われました。

会議冒頭、今年度から委員長に就任された大谷連合自治会長からは、人口減少を続ける竹山にあって、福祉保健の一層の充実の必要性が投げかけられました。



当日の委員会の様子



新委員長 大谷竹山連合自治会長

竹山地区の人口が7,000人割り込む。
高齢化率（65歳以上の人口比）は40%にせまる。

つい20年程前には1万人以上がいたが、最新の人口動態では、竹山地区（1～4丁目）の人口が7,000人を割った。特に高齢者（要支援者）の増加が著しいが、15歳～64歳もまだ50%以上いる。竹山全体で見守り、ささえあえる仕組みや取組活性化が必要。今日（9月21日）は、認知症に関する取組の報告もあるが、「世界アルツハイマーデー」でもある。みんなで考えて3つの目標に取り組んでいきたい。

第3期（H28～32）竹山地区別計画の目標

- ◆目標1「ボランティアの取組を充実します」
- ◆目標2「知りたい情報をわかりやすく伝えていきます」
- ◆目標3「世代間・活動団体間の交流を進めます」



取組報告①ご存じですか？地区ボラセンも8年目突入！
包丁研ぎは4年間で462本の実績

地域のみんでささえあう「竹山地区ボランティアセンター」も開設から8年目を迎えた。通院等の付き添いや簡単な掃除、買い物支援などのメニューを揃えている。最近「車いすの介助（階段昇降補助）」の依頼が増えてきたが、それでも、高齢化のスピードと比べて依頼件数は増えていないように感じる。支援を必要としている人に制度のことが届いているか、工夫が必要。包丁研ぎは毎回好評なので、引き続き実施していきたい。



竹山地区社協 平田さん

取組報告② 知りたい情報をわかりやすく伝えます。掲載したいこと募集中です！
竹山地区社協ホームページがリニューアル！ & 「防災ささえ愛カード」



更新が止まっていた、竹山地区社会福祉協議会のホームページをリニューアル。広報紙だけでなく、インターネットでも竹山の情報を発信していきたいということで3年前につくったが、情報の更新が悩み。記事集めやお知らせしたいことがあれば教えて欲しい。



竹山4丁目自治会長 太田さん



竹山連合自治会 吉川さん

災害時に支援が必要な人を把握する「防災ささえ愛カード」を今年度更新する予定。その時に、実際の震災の体験談などをまとめた情報もプラスして届けていきたいと考えている。必要な人に必要な情報を届けていく工夫が必要。意識の変化をつくってほしい。

取組報告③ 認知症カフェ「ぶらり」のその後



竹山地区社協 小野寺さん

昨年のこの会議で提案させていただいた「認知症カフェ」の取組が、3月に勉強会として、家族の会の人を講師に招き、認知症サポーター養成講座を鴨居地域ケアプラザに協力いただきスタート。6月には、認知症の方ご本人、そのご家族にお越しいただき、「カフェぶらり」を初めてオープンした。

全く無表情だった方も、家族やスタッフの問いかけや趣味の話を始めるとだんだん表情が明るくなり自ら話出してくれた方も。

何か道具を使ったり、難しい話をしたりといったことはしないで、ひたすら会話を楽しむ場としたい。美味しいコーヒーを飲んでリラックスして欲しいとの想いを告げて閉会した。

9月にも2回目のカフェを開催した。遅々として進んでいないところもあるけれど、確かに動き始めた。認知症の対応は竹山でも大きな課題。今後も試行錯誤しながら、少しずつ展開していけたら。



「カフェぶらり」は、竹山池前の「ふれあいさろん竹多久」を会場に不定期で開催しています。

次回の「カフェぶらり」は？
11月26日(日)
10～12時開催予定
@ふれあいさろん竹多久
お気軽にご参加ください。
竹山地区社協HPでもご案内します。



3月の立ち上げに向けた勉強会の様子

くみどりのわ・ささえ愛プラン - 竹山地区別計画推進委員会構成団体等
連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員、寿会、小学校 等 計25名



回覧

竹山地区別計画推進委員会
平成30年1月発行 第3期-No.4 (通算 No.14)
<連絡先>事務局 緑区保険年金課内 TEL:930-2336

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 竹山地区別計画推進委員会通信

今年度2回目の委員会を開催～竹山地区の現状と課題から～



「認知症」と向き合う

第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の竹山地区別計画を推進していくために、推進2年目・今年度第2回推進委員会が12月6日竹山ホールで開催されました。今回は、目標1「ボランティアの取組の充実」にある「隣近所の助け合いに向けた仕組みづくり」を進めるために、竹山地区の高齢化率等の現状や映画から、特に「認知症」に関して議論を深めました。その様子をご紹介します。



委員長 大谷竹山連合自治会長

竹山地区(1～4丁目)の高齢化率は40%にせまり、認知症の問題も深刻になってくるが、あまり深刻になり過ぎず、“気長に、気楽に”やるのが大切。認知症カフェ、高齢者対策、見守り活動等をどうしていくか。すぐには解決できなくても、本格的に議論していく必要がある。今後に対応していくために、少しでも前進するように考えていきたい。

ご存じですか!? 「竹山地区」のこと。

Q1:竹山地区の高齢者数は?

約2,800人。人口の約39%。一番高齢化率が高いのは3丁目で43.6%となっています。(H27国勢調査より)

Q2:竹山地区は「要介護認定率」が低くて本当?

要介護認定率とは、高齢者のうち、介護保険の「要介護認定」を受けている人の割合のことをいいます。竹山地区は、この値が11.73%(H28.3)と、区平均(16.47%)と比べても低くなっています。元気で健康な高齢者ばかりだから大丈夫!ということであればいいのですが、誰にも相談できずに抱えこんでしまっている人が多くないか心配されます。



会議では、上記のような現状と課題を踏まえたうえで、左のチラシの認知症の映画(「認知症と向き合う」東映㈱教育映像部2016)を鑑賞しました。

認知症の正しい知識や周囲の理解、接し方。孤立してしまっている人はいないか。身近な地域でわかちあえることの大切さを共感しました。(裏面に続く…)



竹山地区の取組について～意見交換の一部をご紹介します～

- ・認知症の人に会った時に声を掛けて良いのか迷うが、徘徊と思われる場合にはケアプラザや警察に連絡をして支援に繋げる。
- ・竹多久で開催されている「カフェぶらり」★では、最初は黙っていた人が、明るい顔になって帰って行く。
- ・家族がいる人は良いが、一人暮らしの人は隣同士のお付き合いが重要。
- ・子どもの力を借りて、「聴く」「話す」事が認知症に良いのではないかな。



サザンヒルズ竹山 池田会長

- ・認知症を理解し対応出来る人は少なく、小学生には認識がない。
- ・徘徊している人に「ささえ愛カード」の活用で安否確認ができた。
- ・以前認知症の方が雑木林で亡くなっていた事があり、未然に食い止めるには認知症への認識を持ってもらう事が大切。
- ・身近に認知症の人がいない場合には、こういうDVDが必要。
- ・「カフェぶらり」★が色々な人への理解の機会となる。
- ・認知症の人の事で相談できる場所をPRする必要がある。



吉川連合自治会専任副会長



二丁目自治会 大野会長

- ・認知症が疑われる方に関して、放置された粗大ごみや非常ベルを誤って押してしまった時等、対応について悩んだこともあった。
- ・独居が多いので、隣近所が一番大事。協力の輪を広げるには、声掛けの体制づくりが必要。
- ・認知症予防は「おかしいな」と気付くこと。異変に気付いたら即医療の診察を受け、症状があれば進行を遅らせる服薬をするのも大切。

その他にも、「自動車運転免許試験場でも行っている認知症のチェックが身近なところでもできたらいいのではないかな？」など、具体的なアイデアも議論されました。

最後に、大谷委員長からは、「認知症は病気」「プライドを守る」「人間を尊重する態度」が大切。公にすると、コンビニやスーパーの対応が変わる。気楽に、気長に、頑張り過ぎないで、皆に頼るのが大事。否定をせずに穏やかな会話で相手を理解する。今日は発展的な議論が出来た。今後も対応していきたい。とまとめがありました。

★「カフェ ぶらり」

竹山地区社会福祉協議会が中心となって、認知症の方をはじめ地域の方ならどなたでも集まって情報交換できる場所として「ふれあいさろん竹多久」にオープンしました。お気軽に足を運んでいただきコーヒーなど、飲みながら情報交換やお話ができる場所として開催してゆきますので、ご利用ください。

今回の「カフェ ぶらり」は・・・

3月18日(日)
10～12時開催予定
@ふれあいさろん竹多久
竹山地区社協HPでもご案内します。

認知症など、心配なことは・・・

鴨居地域ケアプラザ（地域包括支援センター）までお気軽にご相談ください！！

電話 930-1122 受付時間（平日・土：9時～21時／日・祝：9～17時）

<みどりのわ・ささえ愛プラン・竹山地区別計画推進委員会構成団体等>

連合自治会、単自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年推進員、奉会、小学校 等 計25名